

## 中国重慶に、研究開発センターを設立

サンデンホールディングス株式会社（本社：群馬県伊勢崎市、代表取締役 社長執行役員：朱 聃（ジュウ ダン）以下、当社）は、「冷やす・あたためる」をキー・テクノロジーに、外部からのイノベーション技術を積極的に取り込むことによって新たな価値を創造し、「人の生活を豊かにする快適な空間」の実現に向けた研究開発活動を進めています。

サンデングループのグローバル研究開発戦略の重要な一環として、当社子会社である、サンデン・オートモーティブクライメイトシステム株式会社（代表取締役社長：近藤唯志、以下SDAS）は、2021年9月に中国重慶に中国研究開発センターを設立し稼働開始します。同研究開発センターの目的は、中国各フロントの既存開発リソースに対し、全面的に技術支援を行うとともに、中国 OEM 及び新エネ市場に必要とされる新技術の研究開発を実施し、スピードをもってより新しく、より良い技術サービスを顧客と市場に提供することです。

同研究開発センターは、日本の研究開発センターと密に連携しながら、日本の基礎研究及び先端研究の成果を現地化し、スピーディーに中国顧客の開発需要及び応用開発を行う開発部門です。

稼働初期には、サンデンオリジナル統合熱マネジメントシステムのハードウェアと制御ソフトを中心に、ハイセンスグループの持つ強力なハードとソフト制御技術力と結合し、未来型コンセプトと技術を有する統合熱マネジメントシステムを提供します。また、同システムの一部である高効率水加熱ユニットや超軽量省エネ型 HVAC も、中国市場に適する仕様で開発を同時に行います。

また、同センターの建設に伴い、SDAS は中国エリアの各現地法人（生産拠点）のリソースを戦略的に再構築し、サンデン中国の統括管理体制のもと、中国エアコン事業の統括管理と運営を行います。

当社は、2030年の社会のありようを見据え、『環境と快適が調和する豊かな社会の実現』をビジョンに掲げています。電気自動車（EV）の普及に合わせて、統合熱マネジメント技術を推進し、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

\*\*\*\*\*

本件に対するお問い合わせ  
サンデンホールディングス株式会社  
総務本部 広報・CSR部  
電話 03(5209)3296

\*\*\*\*\*